

幼稚園等再開後の取組事例集

幼稚園や認定こども園で実践されている、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら幼児を健やかに育む、様々な工夫された取組をまとめました。
臨時休業中にICTを活用するなどして取り組んだ活動を、再開後の教育活動にうまくつなげている例や、やむを得ず登園できない幼児の学びを保障する工夫の例、保護者への支援も紹介しています。
感染状況を踏まえつつ、地域の実情に応じた取組を行う際の参考としてください。

令和2年9月7日 作成

令和4年3月18日 改訂



目次



- 1 新型コロナウイルス感染症対策に留意した遊びの工夫 …… 3
- 2 幼児の発達の特性を踏まえた衛生管理に関する工夫 …… 9
- 3 幼児の思いと感染症対策に配慮した行事の工夫 …… 14
- 4 やむを得ず登園できない幼児の学びを保障する工夫 …… 19
(令和4年3月18日追加)
- 5 幼稚園と家庭との情報共有や連携・協力の工夫 …… 24
- 6 子育てに関する悩み相談やストレス軽減、虐待防止など、保護者に対する支援 …… 27



1

新型コロナウイルス感染症対策に留意した遊びの工夫



遊びの拠点の分散

～こんなところも遊び場に～



小垣江東幼稚園

廊下や遊戯室、テラスなど遊び場を分散しました。幼児はテラスでごっこ遊びをしたり、廊下で製作活動をしたりなど、思い思いに遊んでいます。



浜脇幼稚園

今年はプール遊びにかえて、砂場からの遊びの発展として、水流しの遊びや廃材を使って手作りの船を浮かべる遊びなどにプールを活用しました。



豊洲幼稚園

遊びのコーナーを離す、換気をよくする、遊びのコーナーに衝立を置くなどの工夫をしつつ、幼児が楽しめるようにしています。



川添幼稚園

砂場に遮光ネットをはったり、園庭にテントを張ったりして、熱中症にも注意しながら遊べるようにすることで、普段より園庭の活用を増やしています。

※遊びの拠点の分散などでは、こんな工夫の事例もありました！

- ・熱中症対策や幼児が遊びやすい工夫をして、園庭を有効活用
(芝生や中庭の整備(迷路遊びや探索遊び)、グリーンカーテンのおうちや草畑を作成など)
- ・遊びのコーナーを増やしたり、スペースを広く有効活用できる工夫をして、園舎内でも密を避ける
(会議室を保育室に転用、廊下や玄関などの活用、保育室の仕切り撤去や移動可能なワゴンを使った環境の変更)
- ・遊びの拠点分散や運動不足解消のため、体を動かして遊ぶ遊具数の増

遊びの拠点の分散 ～こんなところも遊び場に～



七松幼稚園

ピアノは個人使用とし、屋外で一列に並んで演奏をしました。夏休み中に、自宅で、ピアノでいろいろな音を出して楽しめるように動画を配信しました。



立花愛の園幼稚園

ダイナミックな水遊びの展開のため、グラウンド全体を『ウォーターパーク』へと大改造しました。サバイバル水鉄砲、噴水コーナー、ウォーターライダー、水路作り、水のトンネルコーナーなどを展開し、密を避けつつ、幼児が伸び伸びと遊べるようにしました。



野里幼稚園

換気の良いテラスで色水遊びをしました。幼児同士の間隔をあけつつ、お互いが見える空間で活動したので、一緒に楽しんだり友達の作り方に刺激を受けたり、色の違いに気づいたりできました。



鳥取大学附属幼稚園

園庭で走ったり、三輪車やスクーターに乗って遊んだりすることがより楽しくなるように、芝生やクローバーを刈り、迷路を作りました。



※遊具では、こんな工夫の事例もありました！

- ・遊びの拠点の分散や共有頻度を減らすために遊具数の増
- ・はさみなどは個人用に変更
- ・シャボン玉の口をつける遊具などは、中止、個人用に変更、手で遊ぶものに変更などの工夫
- ・遊具の数を増やす一方、消毒の負担などを考慮し、遊具の種類を精選するため幼児の発達に応じた遊具の再点検を教師間で協議

分散登園等での交流

～離れていても一緒だよ～



神戸大学附属幼稚園

隔日登園の中、別の登園日の幼児との仲間意識や遊びの共有のため、「あしたくるみんなへ」活動を実施しました。掲示版に、今日の遊びや楽しかったことなどをかきます。翌日、登園した幼児達は、興味深くそれらを見ていました。同じ遊びを始める幼児もいました。



番町幼稚園

「ばんちょうはくぶつかん」コーナーを開設し、園内の動植物の様子、幼児が調べたことや製作物などを展示しました。自粛のためしばらくぶりに登園した幼児が不在時の様子を知ることができます。

遊び方の工夫

～遊び方はいろいろ
私たちが決めたルール～



橋本幼稚園

プールを使って、シャボン玉遊びをしました。継続して遊ぶことで、液の配合を工夫したり、人が入れるほど大きくしたりといったことができました。



他学年招待のお店屋さんごっこ。教師の援助の下、レジの飛沫防止シート、電子決済、会計の順番待ちのラインなど、幼児は大人のまねも取り入れ遊びます。



小幡幼稚園

遊具の使い方を幼児と一緒に考え、各遊具にそのルールをはりました。

※遊びでは、こんな工夫の事例もありました！

- ・接触等の少ない遊びの積極的な活用（的あて遊び、けんけんぱ、かくれんぼ、しっぽとりなど）
- ・遊びのルールの変更（巧技台を使った遊びでは「手を使わないルール」を新設、ドンジャンケンの「ドン」を足で「トン」する「トンジャンケン」に変更など）
- ・大型絵本の活用、歌はテラスで外を向いて一列に並んで歌う
- ・プールを中止した場合は水遊びを充実、プールは分散実施や希望者のみ実施

休業中の取組の活用

～ お家でやったね
～ 一緒だと楽しいね ～



休業中に実ったエンドウ豆やそら豆の収穫動画を作成しました。教師が豆の数を数えて、たくさん実ったことを伝えました。

6月の園児によるジャガイモ収穫では、動画を見た幼児から数を数えたいとの意見がでました。最初は、動画の教師のまねをしていましたが、数字の下にジャガイモを並べるなど、試行錯誤する様子が見られました。



休業中に、ホームページでぬいぐるみの人形がブロックを使って遊ぶ様子を連載しました。

幼稚園再開後、ホームページと同じ環境にしたら、幼児は休業中に家でイメージしたことを再現していました。



休業中に動画配信し家庭で踊っていた踊りで、まずは楽しく体ほぐしをします。外出自粛の影響による体重増加や体の動きのぎこちなさがみられたので、さらに、走る、飛ぶ、投げるなど、発達に応じた多様な動きができるようにしました。

休業中に、担任の紹介、遊び、手洗い歌や食育に関する動画を配信しました。園再開後、配信した動画をもとに、養護教諭による手洗いを含めた衛生管理や食育に関する指導を行い、幼児自ら、健康な生活に必要な生活習慣が身に付くきっかけづくりとしました。

休業中の取組の活用

～ お家でやったね
～ 一緒だと楽しいね



昨年度から「おさんぼカード」を作成し、身近な自然を見つけ、季節の変化を楽しめるようにしました。登園自粛期間は、親子で探せるように家庭に2枚ずつカードを配布しました。園再開後の園外保育の際には、田んぼのオタマジャクシやカエルを進んで見つけて喜び、ツユクサやアジサイの花や葉の大きさの違いに気付くなど、自然の変化を楽しんでいました。



幼児を支える教師

～ 教師の学びを止めない
～ ICTの活用

七松幼稚園



Zoomを活用したオンライン研修会を実施し、北海道から鹿児島まで日本全国からの参加がありました。

職員会議はビデオ会議としています。また、保育室でG Suite for Educationを使い、日々の保育計画や振り返りの記入を行っています。これにより、教職員が物理的に集まることを減らしました。

- ※教師は、こんな工夫もしながら幼児の学びを支えています！
- ・遊びの拠点の分散に伴い、教師はトランシーバーで連絡
 - ・教師は普段マスク着用のため、保育室前などに職員紹介を掲示



2

幼児の発達の特徴を踏まえた衛生管理に関する工夫



衛生管理の理解

「ダメ」「しなさい」
ではなく、幼児自ら



高浜幼稚園

幼児が楽しんで順番待ちができるように、並ぶ位置に動物の足型などをはりました。動物の足型に関心をもつ幼児がふえました。



さくら幼稚園

話声、咳、くしゃみの飛沫を幼児にもわかりやすく視覚化し、感染予防の意識を高めています。



小倉南幼稚園

うがいの時に隣の幼児にしぶきがかからないように段ボールやカラービニール袋で間仕切りをつけています。また、アクリルスタンドでコップが接触しないように仕切りをつけています。



※マスクに関しては、熱中症予防のため体を動かす時にははずしたり、衛生管理の観点から使用後のマスクを入れるファスナー付きビニール袋を準備したりしている例がありました。

衛生管理の理解

「ダメ」「しなさい」
ではなく、幼児自ら



手のひらは王様バイキン、指の間はお山バイキン、親指はネジネジバイキン、手首はかけっこバイキンなどを図示し、それぞれこするように、ねじるように、かけっこで手首をつかまえて…など、洗い方が年少児にもわかりやすくなるようにしました。



犬山幼稚園



幼児がよく触れる箇所にウイルスのイラストをはり、手洗いを促すきっかけとしました。



武庫愛の園幼稚園



虫眼鏡のイラストを使って、手洗い前には雑菌やウイルスがいることを見せることで、幼児の手洗いや消毒への意欲を高めました。

※手洗いに関しては、こんな事例もありました！

- 手洗い順序のイラスト、手洗い歌、教師の手洗いの様子の動画配信、楽しくなる石鹸泡づくり、手には菌のスタンプ
- 登園、手洗い、持ち物整頓がスムーズにできるように幼児の動線を見直し
- 遊んでいる時に手洗いの合図の音楽をかける
- 消毒ボトルは幼児が消毒しやすい高さに合わせ、目につくイラストや文字をつける

※新型コロナウイルスに関する幼児への説明では、紙芝居や人形を使った説明などの事例もありました。

※身体的距離の確保や対面を避ける工夫では、こんな事例もありました！

- 使用する椅子に、幼児が親しめるように大きなリングの似顔絵マーク「おすわりリング」を置く
- 使用しない椅子にぬいぐるみを置く
- 飛行機のポーズで身体的距離を意識させる

衛生管理の工夫

～ 教師による
環境や物品等の工夫 ～

さくら幼稚園



共有物品を減らすため、
個人用のペットボトルバケ
ツをつかって、水遊びをして
います。



八多幼稚園

遊具、用具、絵本など、遊んだり触れたり
したものを置く片付け専用のカゴなどを準備す
ることで、使用済みの遊具等を他の幼児が
使用したり、洗浄・消毒する物品を明確に
したりしました。

立花愛の園幼稚園



水道使用時の幼児同士の距離を確保
するため、使用できる蛇口を一つおきにし
ました。使える蛇口が減ったため、園庭に
手作りで手洗い場を増設しました。

※ 幼児の密を避けるため、こんな工夫の事例もありました！

- ・ 空間に入れる人数を調整
(入口の靴置き場の数の減、チケット制での入室、保育室に入室できる人数をボードに掲示するなど)

※ 遊具などの物品の管理について、こんな事例もありました！

- ・ 消毒のしやすい遊具などの活用
- ・ 洗浄・消毒、乾燥しやすい買い物かごを遊具を入れる容器として利用
- ・ 絵本は降園後に消毒・乾燥したり、定期的に入れ替えを行ったりするなどの工夫

※ そのほか、換気の徹底 (定期的、エアコン中でも換気など)、着替え回数減のため遊び着で登園、幼
児の体液が教師のスモッグに付着したら着替えなどの事例もありました。

お弁当の時間

～工夫して一緒に～



小東山幼稚園

5歳児

4歳児

5歳児は、一つのテーブルに2人ずつ同一方向を向きますが、クラスの友達の顔が見えるように大きな円にしています。4歳児は、教師が幼児全員を見渡して必要な援助をすることも考慮して、一つのクラスでパーティションを利用しています。



小倉南幼稚園

感染予防により友達と元気に遊べることを幼児に伝えています。お弁当の時間も、「おなかのためによく噛んで食べようね」、「話に夢中になると食事時間が長くなって遊ぶ時間が少なくなるね」などを伝え、結果的に静かに食べるようにしています。

衛生管理の理解

～教師も学びます～

薬剤師による講話会を設け、消毒に使用する薬品の扱い方などの指導を受けました。

休業中に、近隣の園長で衛生管理や感染症対策について話し合い、園再開後の活動に取り入れています。

消毒すべき箇所のチェックリストを作成しました。幼児が遊びに没頭している最中は消毒を控えますが、チェックリストの活用により、忘れずに消毒できています。

- ※お弁当に関しては、こんな工夫の事例もありました！
- ・会議室を食事の時のみ使用する部屋として使用
- ・お弁当の時間のお茶などは教師が準備



3

幼児の思いと感染症対策に配慮した行事の工夫



入園式

～ お祝いの気持ちを
伝えたい ～



豊岡幼稚園

換気のよい園庭で、新入園児等の
間隔をあけて行いました。春の陽気
の中、花壇の花も咲き、これからの
園生活が楽しみです。



小東山幼稚園

入園式は新入園児と保
護者1名の参加とし、会
の終わりに進級児が花道
を作りお祝いしました。花
道は、対面にならないよう
に片面にだけ並びました。



入園式中止のため、園再開後、立
て看板と花を飾ったアーチを正門に
飾り、入園児と保護者が記念撮影
ができるようにしました。

「入園を祝う催し」を
開催し、年長児から
のお祝いのメッセージ
ビデオの放映、年長
児手作りの壁面装飾
をしました。会をビデオ
撮影し、後日、保護
者に見ていただきました。

七夕

～願いを込めて～



五條幼稚園

いつもは幼児が集まって七夕飾りを作りますが、今年は「七夕コーナー」を作り、予め作った作品を持ち寄って、飾りつけをしました。その後で、追加で飾りを作れるように制作コーナーを設置し、どの学年でも好きな時に来て楽しめるようにしました。



上秋津幼稚園

いつもは、「老人施設あきつ」の方々と一緒に七夕飾りを作り、「老人会」の方々を七夕集会にお招きしていましたが、今年は、願いを込めた七夕の笹飾りにメッセージをつけて「老人施設あきつ」「老人会」等に届けました。



小栗山幼稚園

親子笹飾りの行事では、密集しないように複数の部屋に分散して行き、短時間で終わられるように、各家庭で作った七夕飾りを持ってきてもらい、飾りつけを行いました。

いろいろな行事

～こうして実施したよ～

武庫愛の園幼稚園



一斉集合の誕生会は中止し、誕生児はバッジを付けることで、他の幼児がお祝いやすくなりました。また、教職員が給食時にクラスを回ってお祝いパレードを行いました。

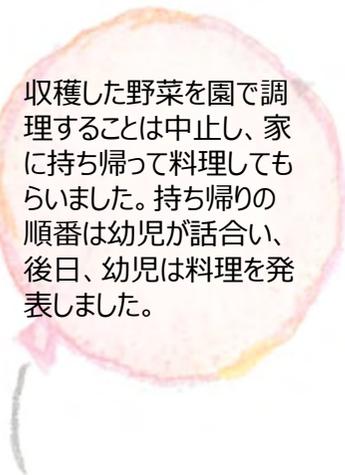


愛媛大学教育学部附属幼稚園



「夜のつどい」を「夏のつどい」に変更し、全体を2グループに分けた分散型にし、年長児発案の店やPTAのコーナー、盆踊りを中心に行いました。花火や飲食は中止しましたが、年長児の店のスペースを広くとったり積み木迷路を一方通行にして密を避けたりして、親子で楽しめるようにしました。

収穫した野菜を園で調理することは中止し、家に持ち帰って料理してもらいました。持ち帰りの順番は幼児が話し合い、後日、幼児は料理を発表しました。

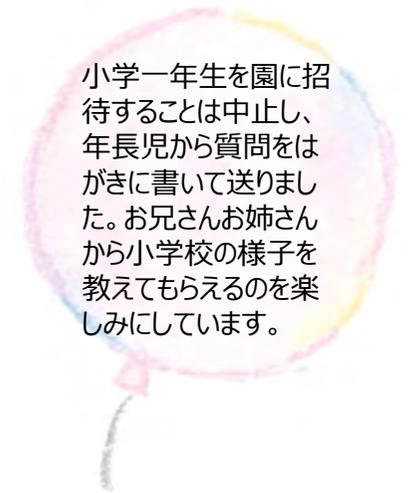


五條幼稚園



移動を伴う野外活動に換え、保育室でのミニプラネタリウムを開催しました。

小学一年生を園に招待することは中止し、年長児から質問をはがきに書いて送りました。お兄さんお姉さんから小学校の様子を教えてもらえるのを楽しみにしています。



いろいろな行事

～こうして実施したよ～

【運動会】

- ・平日に学年ごとに実施しました。
(保護者参加も限定)
- ・保護者の思いなどを踏まえて土曜日に学年ごとの入れ替え制で実施しました。
- ・接触の少ない種目や練習時間が少なくてもできる種目に限定しました。
- ・運動会の時間を短縮しました。

【遠足】

- ・バス乗車時間の短い場所に変更しました。
- ・バス利用をやめ近隣の山などに変更しました。
- ・バスに乗る経験確保のため園児のみバスとしました(親子遠足だが保護者は現地集合)。
- ・希望者のみ現地集合現地解散での参加としました。

【交流活動】

- ・近隣園とは、直接ではなくオンラインで交流しました。

【交通安全】

- ・家庭でも意識できるように保育で取り入れている交通安全の説明資料を家庭に配布しました。



4

やむを得ず登園できない幼児の学びを保障する工夫

(令和4年3月18日追加)



家でも遊べる！学べる！

～幼児の発達に必要な体験の確保～

武蔵野市内の幼稚園



学級の他児との対話

読み聞かせ配信

オンラインで一緒に演奏

自宅待機中の幼児とオンラインでつないで学級の幼児と一緒に活動できるようにするなど、自宅にいても、他の幼児や園とのつながりを感じることができるようにしました。

※本園ではこんなことにも取り組みました！

- ・事前に製作教材を送付し、他児と一緒に製作
- ・幼児が前日まで園で楽しんでいた活動の継続性（朝の会で盛り上がっていた3択クイズの動画配信。学級閉鎖時に、学級で話題になった新聞紙を丸めた雪だるまづくりについて、実際に作ると丸くならない動画を配信し、お家で考えて登園したらやってみようと呼び掛け など）
- ・自宅にいても園に登園するわくわく感を味わえるよう、登園バスから降りて保育室へと移動する朝の様子動画配信
- ・長期自宅療養をしている幼児に対して、担任や友達からメッセージ配信

家でも遊べる！学べる！

～幼児の発達に必要な体験の確保～

尼崎市内の幼保連携型認定こども園

自宅待機により作品展に参加できない幼児がいることから、動画配信しました。幼児の思いや試行錯誤の様子をナレーションで伝えたり、幼児の思いが伝わるように作品の撮影角度を工夫したりしました。

保護者から、友達の作品ができてきたら「〇〇ちゃんはこんな工夫をした」と嬉しそうな幼児の様子などの報告がありました。



ブーメランづくりの動画配信



先生や他児と一緒に遊べる楽しさを味わえるようにリアルタイムの動画配信を行いました。参加者に友達を見つけた幼児は嬉しそうにしていました。



作品展の動画配信



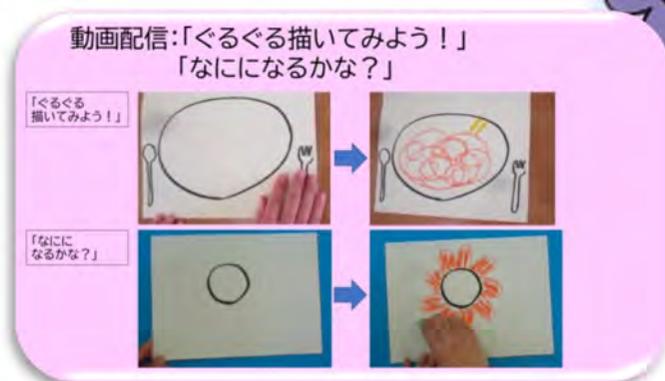
※動画配信ではこんな工夫をしました！

- ・園内の濃厚接触者が複数名となったこともあり、年齢に関わらず全ての幼児を対象とした動画を作成しました。
- ・いつでも繰り返し視聴できるように無料の動画共有サイトで限定公開も行いました。
- ・動画は、体を使ったジャンケン、マジック、牛乳パックでのブーメランづくりとし、発散する運動遊びや集中して製作を楽しむ活動をおりませ、登園後も楽しめるように配慮しました。

※リアルタイムでの動画に参加した保護者からこんな声が寄せられました！

- ・兄姉がオンラインでの授業に参加している様子を羨ましそうに見ていた幼児は、動画の時間を待ちきれない様子で、視聴中も自宅であることを忘れて集中して遊んでいました。
- ・保護者から、家での遊びが単調になりつつある中、動画が刺激となって、オリジナルの遊びを開発して楽しむ様子が見られました。

家でも遊べる！学べる！
～幼児の発達に必要な体験の確保～



令和2年春の休業中に作成した遊びの動画を見ながら遊べるように必要な教材を送付しました。登園再開前には、担任がオンラインで幼児や保護者と話すことで、体調や気持ちのケアを行いました。



※幼児やその保護者の状況に応じた配慮をしました！

【療養施設から自宅待機に変更になった幼児】

・家族の感染のため、療養施設で2週間、自宅で1週間の待機となり、長期間、元気なのに外に出られない日が続き、親子ともつらそうでした。療養施設には、製作やお絵かきの動画で使う教材を送付し、自宅には、体を動かす遊びの動画で使う教材を送付しました。保護者からは、「園からの教材に大喜びし、動画は見ていなくてもずっとかけながら、お絵かきなどをしていました。」という感想が寄せられました。

【家族が別々の場所で生活する幼児】

・療養期間中、感染した兄弟に付き添う母親と離れ、父親と別の場所で生活することになりました。父親は、日中リモートワークのため、幼児は一人で動画を見ながら製作を楽しんでいたようです。子供のことを十分に見てあげられないという母親の思いを受け止め、気持ちのケアを園では心がけました。

家でも遊べる！学べる！

～幼児の発達に必要な体験の確保～



自宅待機中の園児へ、園で使っている自由画帳と折り紙にお手紙を添えて郵送しました。幼児から、「○○の絵をかいたよ」とお手紙がきました。

※自宅待機中と登園後の両方に配慮しました！

- ・学級の幼児の感染により濃厚接触者となり、自宅待機2週間となりました。自宅待機中でも、幼児が遊べる物品を補充したり親しみのある物で遊んだりできるようにしました。
- ・幼児の自宅待機中に開催予定であった運動会は、登園再開後に変更しました。



5

幼稚園と家庭との情報共有や連携・協力の工夫



情報提供・情報共有

～ 家庭とともに
幼児を育てる ～

【保護者参観の機会の減を 踏まえた保護者への情報提供】

- ・写真と一緒に教師がとらえた幼児の育ちのコメントを添えて掲示しました。
- ・登降園時に大型のテレビモニターに幼児の活動を投影しました。
- ・ホームページ更新回数を増やしました。
- ・園だよりなどの写真の掲載数を増やしました。

【衛生管理】

- ・園での取組を保護者に伝えました（消毒、換気、手洗い、机の設定、給食当番、清掃活動、外したマスクの保管方法、給食の食べ方など）。
- ・家庭で気を付けてほしいことを伝えました（生活リズム、衛生管理）。
- ・手洗い方法のイラストや手洗い歌をつくり園で活用するとともに、家庭に配布しました。

【家庭への支援】

- ・登園自粛の家庭に定期的に連絡しています。
- ・家庭のアルバム作成のため写真を提供しています。

【保護者参観】

- ・分散開催としました。
- ・テラスや廊下から参観としました。

【登降園時】

- ・時間差登園により、マスク着用の上、保護者と担任が会話をしています。
- ・話を最小限にして連絡帳、掲示板、ホームページを活用しています。

【保護者との連携】

- ・家庭と連携した食育、適度な運動、規則正しい生活習慣を推進しました。
- ・個人の連絡帳を活用しました（保護者からも返事を書いてもらい家庭での様子も知ることができました）。

【その他】

- ・家庭でもできる体を使ったストレッチや簡単なゲームなどで運動機能が発達するような活動を増やしました。
- ・外国人幼児等の保護者のために、園だよりやメールを翻訳しました。

保護者の協力

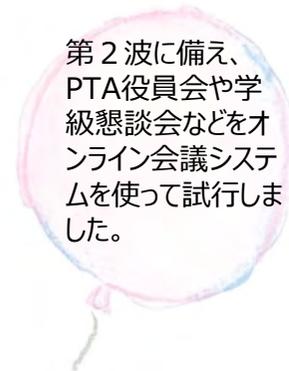
～いつもありがとう～

プラネタリウム参観の中止に伴い、幼児同士の交流の機会や天体への興味をもってほしいとの保護者の思いから、保護者所有の家庭用プラネタリウムを借りて実施しました。この活動が、七夕のロケットの飾りにもつながりました。

PTA活動の大幅縮小により、本年度は有志によるサポーター制をとり、参観時の椅子の消毒、運動会のテント張などを手伝っていただいています。保護者からのご提案でもあり、幼稚園での思い出づくりにもなります。

第2波に備え、PTA役員会や学級懇談会などをオンライン会議システムを使って試行しました。

保護者が集合した草取りに換え、保護者からのご提案で、駐車場の草を送迎時に「1日1本抜いちゃおう運動」を開始しました。





6

子育てに関する悩み相談やストレス軽減、虐待防止など、保護者に対する支援



子育ての支援

～一人じゃないよ～
～私たちがいるよ～

大阪教育大学附属幼稚園

園再開後すぐ、休業中の幼児の様子や保護者の不安などのアンケートを実施し、保育に生かしたり保護者との連携に役立てたりしました。アンケート結果から不安を感じている保護者には声掛けをしています。

山直北幼稚園

保護者が頑張っている様子や家庭で実践してみたいくなる子育てのポイントを記したおたよりを配布しました。

薫英学園かおり幼稚園

幼稚園の休業中にZoomを用いて家庭での幼児の様子を尋ねたり、動画で園の様子や教材を提供しました。園再開後は、子育ての参考となるよう、園の様子や保育を動画配信しています。

たちばな幼稚園



保護者交流の機会の減に対応し、保護者同士が繋がる「仲良しボード」を作りました。第1回は、「ステイホーム中の家庭での過ごし方」をテーマに付箋に記入し、テラスに掲示しました。

つばた幼稚園

懇談会は、保護者のニーズに応じ、学級担任に加え、園長、保健師、発達専門の相談員との懇談もできるようにしました。

山梨大学教育学部附属幼稚園

Webのアンケートフォームを活用した保護者投稿欄「モヤモヤ&お役立ち！投稿ボックス」を開設しました。

子育ての支援

一人じゃないよ
～ 私たちがいるよ ～

自宅の時間がふえストレス発散ができないとの声を踏まえ、親子登園してジャガイモ収穫を行いました。密を避け、保護者の都合のよい時間に参加できるよう、収穫の時間帯は決めませんでした。

感染症に対するマニュアルを作成し、各家庭に配布しました。

分散登園中も、家庭で楽しめる教材の配布、絵本の貸し出しなどを継続しました。

ストレスを感じている保護者に預かり保育の利用を勧めています。

【懇談会や個人面談】

- ・不安を感じている保護者が多かったため、密にならない工夫をして実施しました。
- ・一律の個人面談は中止し、希望者のみ実施しました。
- ・登降園の様子を見て個別に面談の声掛けをしました。
- ・対面実施と電話での懇談との選択制としました。
- ・スクールカウンセリングを活用しました。

ホームページに未就園児親子向けの遊びのヒントとなる教材を紹介しています。